

NPO法人 あっとわん

ママのこころと笑顔の応援団



第145号
通信

あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2015年12月18日発行 46,370部

公益財団法人あいちコミュニティ財団さんが、こんな素敵な企画を始められました。
忘年会、新年会、歓送迎会はぜひ、このキャンペーンを実施しているお店をご利用ください！
未来のために、わたしができること……



子どもたちのミライにカンパイ！

あなたの一杯が寄付になる

カンパイチャリティキャンペーン

が始まります

カンパイチャリティ
キャンペーン期間

2015年12月1日~2016年3月31日

カンパイチャリティとは・・・？

期間内に参加店舗で「生ビール」を注文すると1Lにつき1円が「あいち・なごや子どもとつくる基金」へのチャリティ（寄付）になるシステムです。このキャンペーンはあいちコミュニティ財団が名古屋市「消費者市民社会普及事業」の一環として、ママボノと一緒に企画運営しています。

「あいち・なごや子どもとつくる基金」とは？

あいちのミライを担う子どもたちの悩みや不安を解消するために、みんなで寄付を持ち寄るしくみとして設置された基金です。



「消費者市民社会普及事業」とは？

「消費者が、社会の課題解決やよりよい発展に寄与することに共感し、商品やサービスを選択する消費行動を起こす」モデル的な消費の仕組みを創出するものです。

「ママボノ」とは？

ママとプロボノを組み合わせた造語です。子どもたちの課題の一番近くにいるママたちだからこそ気づける視点をもって、子どもを持たない方やこれから親になる世代、子育てを終えた世代など多様な方々へ、カンパイチャリティキャンペーンを広くひろめていきます。

ママボノさんからのコメントです

田口さんより.....

『生ビール』で『子ども』たちのミライと書いてあっても一見なぜ?と思われるキャンペーンかもしれませんね。カンパイチャリティは地域課題の解決方法の一つとして、全国的には京都や千葉、沖縄などですでに取り組みされており、東海地方では今回が初の試みとなります!「寄付しよう!」という少し難しく考えてしまうかもしれませんが、仲間と飲んで楽しみながら、子どもたちの問題を知ってもらい、さりげなく応援していただけたらうれしいです。これからの忘年会、新年会シーズン。同じ「飲む」なら寄付につながる一杯を飲んでみませんか?参加店舗情報はWebまたは、店頭ポスターにて。

榎原さんより.....

子どもを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。愛知県ならではの課題も多く、例えば、外国にルーツをもつ児童生徒に関する課題などがあります。愛知県内に住む日本語指導が必要な外国人児童生徒は6,991人(2012年度)で、なんと全国最多です。私は、ママボノとしてカンパイチャリティに参加して初めて知ったのですが、この数字を聞いてとてもビックリしました。「日本語指導が必要」ということは、漢字が読めないなど日常生活のコミュニケーションに困っている子どももいるかもしれません。困っている人に対して直接手を差し伸べることはできなくても、簡単にできる支援のカタチもあります。まずはお近くの参加店舗で生ビールを注文して、カンパイチャリティを応援してください!

1 「生ビール」でカンパイしよう!

カンパイチャリティ参加店舗へ行き、「生ビール」でカンパイする。

2 カンパイチャリティを広げよう!

ハッシュタグ「#カンパイチャリティ」をつけて、フェイスブックやツイッターへアップ。



3 「カンパイチャリティ食卓」に参加しよう!

「子ども」の問題解決への取り組みを聴きながら、おいしい食事を楽しむ食卓を開催します。食事会の最新情報は、HPをご覧ください。

「カンパイチャリティ
キャンペーン」
参加店舗の検索方法

カンパイ あいち 検索



あっとわん春秋

前号でお伝えしました「相談員人材養成講座」ですが、そこでお伝えしていることの1つに「5W1Hを意識しながらのコミュニケーション」を大切にしよう!があげられています。小学校の頃から知っている5W1Hはコミュニケーションの基本になります。もっと言えば、事業でも活動でも基本になりますので、これを難なく使えるようになることが増えていきます。しかし、普段意識していないことをいざ使おうとするとなかなかうまくいきません。「伝える時」発信もそうですが、「聴く時」受信でも5W1Hで聞こうとするの難しさを痛感します。その理由の一つは「慣れていないこと」だと考えています。正直なところ、5W1Hを普段のコミュニケーションで使うという意識をもそも強く持っていないと思います。となると、日常生活で意識して使うことからのスタートになるわけですね。慣れていないことは、馴染みがないので生活になかなか浸透されていくこともありません。▼そこを少し意識しながら行動に変えていくことから始めてみませんか?慣れるまで時間はかかりますが、馴染んでくるととてもコミュニケーションがスムーズになると思います。

かわのゆみこ